おくすりコラム



脳梗塞治療に使われる薬剤



脳梗塞治療に使われる薬剤には、「急性期の治療」を目的としたものと「再発予防や後遺症対策」を 目的としたものの2つがあります。今回は「再発予防や後遺症対策」を目的とする薬を取り上げます。

再発予防や後遺症対策、慢性期の治療

再発予防の薬物療法は、血液が固まらないように、いわゆる血液をサラサラにする薬で2タイプがあります。

- ① 血小板の働きを抑えて、血栓を作るのを抑える薬
 - 「アテローム血栓性脳梗塞」、「ラクナ梗塞」の予防に使用されます
- ② 血液が固まらないようにすることで、血栓を作るのを抑える薬 心臓の不整脈や心房細動が原因となる「心原性脳塞栓症」の予防に使用されます

抗凝固薬・抗血小板薬

抗凝固薬 :フィブリン形成を阻止して血栓が拡大・強固になるのを防ぐ ワーファリン、プラザキサ等

抗血小板薬:粘着・凝集を防ぐ アスピリン、プラビックス等

いずれも、脳梗塞は血液が固まって血栓となり、血管が詰まることが原因ですので、治療薬の目的は 血液を固まりにくくする、ということです。

慢性期は、薬の内服が中心で、直接の治療というよりは再発予防のための薬になります。

基礎疾患の治療薬、高血圧・糖尿病・脂質異常症などの治療薬をきちんと服用することも大切です。

(薬剤科長:佐藤 ゆかり)

編集 後記

すっかり寒くなり、冬本番といった季節になりました。当院では2017年 より毎年11月から12月頃の時期に院内学術発表会を行っております。3回 目となる今年は30題が5ブロックに分かれて発表されました。各ブロック で投票を行い、優秀な発表にはブロック賞が贈られます。発表を聞くこと で、他部署の業務や姿勢などを垣間見ることができ、貴重な機会となって おります。発表会で得られたものを業務に活かしていきたいと思います。



仙台東脳神経外科病院

〒983-0821

宮城県仙台市宮城野区岩切1丁目12番1号

Tel: 022-255-7117 (代表) Fax: 022-255-7760

【関連施設】

仙台リハビリテーション病院

〒981-3341

宮城県富谷市成田1丁目3番1号

(地域医療連携室:松井 智美)

Tel: 022-351-8118 (代表) Fax: 022-351-8126

医療法人社団 脳健会

仙台東脳外だより

ご自由にお持ちください

2020.冬

編集:仙台東脳神経外科病院 広報部 / 発行:2020年1月

「脳梗塞」に立ち向かう

当院は仙台市の東に位置しており、脳神経疾患の 専門病院として地域の皆様の健康に微力ではござい ますが貢献できるよう、日々精進いたしております。 小生も当院に勤務して15年が経過しました。医学界 は日進月歩ですが、脳神経外科領域においても治療 の進化は凄まじいものがあります。その中でも脳卒 中、特に「脳梗塞」の治療においては、最近では世 界レベルで治療が変化しております。

現在、日本は先進国の中でも「超」がつく高齢化 社会に直面しております。高齢者が増加する一方で、 高齢者の健康寿命も延びているのは事実です。また 最近の健康ブームも手伝ってか、運動を日課にされ ている高齢者の方を多く目にいたします。しかしな がら、我々が日々診療に当たっている脳卒中は、一 瞬にして生活を変えてしまいます。

脳卒中は英語でstroke(ストローク)と呼ばれ、 「一撃」を意味し、死亡、もしくは後遺症を残す可 能性の高い恐ろしい病気です。ひとたび脳卒中を患 うと、場合によってはこれまでの充実していた生活 が送れなくなり、介護などが必要となれば、関与す る周囲の人々の生活も激変する事が予測されます。

冒頭でも述べましたように脳卒中、特に「脳梗 塞 | の治療においては、これまでの治療では「死亡 や麻痺などが重く残存する重度な脳梗塞」であった ものが、場合により「治せる脳梗塞」となる事もあ ります。その治療こそが「t-PA静注療法」「血管内 手術」です。

現在の規定ではt-PA静注療法は発症から4.5時間 以内の脳梗塞症例への使用が認められております。

(禁忌事項が無いことが条件) 劇的に症状の改善を 認め、後遺症がほぼ無い状態で退院される患者様も 多く見受けられます。しかし、t-PA静注療法を施行

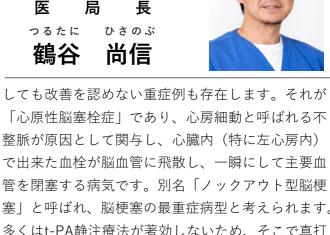
○t-PA静注療法

年度 2016 2017 2018 2019.11 件数 **39 29 36 22**

○血栓回収術

2	20	11	12	9
	2016	2017	2018	2019.11

脳神経外科 医 つるたに ひさのぶ 尚信 鶴谷



塞」と呼ばれ、脳梗塞の最重症病型と考えられます。 多くはt-PA静注療法が著効しないため、そこで真打 ちである「血管内手術(急性期血行再建術)」の登 場となる訳です。治療法はかなり確立されており、 血栓回収用ステントを利用し血栓を絡め取る、血栓 吸引力テーテルを利用し血栓を吸い取る、あるいは それらを組み合わせて施行するなどの方法がありま す。もちろん、早期に閉塞した血管を再開通させれ ば、予後の改善が見込めるとのデータも出ておりま すので、適応があれば「施行すべき治療」になりま す。現在では発症/最終健常確認より24時間以内で、

「t-PA静注療法」「血管内手術」は現在の急性期 脳梗塞治療において必須のツールになっているのは 周知の事実です。幸い、当院は両治療とも実施可能 施設となっております。「Time is Brain」と言われ るように、脳梗塞治療は時間が鍵になります。治療 適応の症例には「微力ではありますが全力」で尽力 したいと考えております。今後とも何卒よろしくお 願い申し上げます。

梗塞範囲が限局されている場合には治療適応が考慮

○CAS・PTA・ステント術

されるケースもあります。

○脳動脈瘤コイル塞栓術

2016	2017	2018	2019.11
1	9	7	4

2016 2017 2018 2019.11 26 17 12 7

院内トピックス

第9回仙台リレーマラソンに参加しました



2019年11月10日(日)に、毎年恒例の第9回仙台リレーマラソン が開催されました。

Jレー形式で、1チーム42.195kmを走る競技です。当院ではこれま で毎年参加しており、医師、看護部、コメディカル、事務スタッフ など、普段の業務ではあまり交流のない部署・職員との交流を深め る良い機会となっています。皆で同じゴールを目指し、タスキをつ なぐことで、横の繋がりができ、結束が強まり、普段の業務にも良 い影響を与えていると感じます。おそろいのチームユニフォームは

渡部先生の提供によるもの

です。

毎年、総合タイムが更新できるよう頑張って取り組ん でいます。

今回は3時間17分31秒、 185チーム中91位でのゴール でした。来年は更なる好成績を目指したいと思います。



部署 紹介

リハビリテーション室



リハビリテーション室は、開院当初2名の理学療法士によりスタートしました。現在は理学療法 士8名、作業療法士7名、言語聴覚士6名の21名で構成されています。他職種と良好な関係を構築 し、脳卒中急性期の患者様により良いチーム医療を提供すべく積極的に取り組みを行っています。 また、2015年度より運動器疾患リハビリテーション料(Ⅱ)の診療報酬算定が開始され、さらに 活発なリハビリ介入がなされています。時代の流れでもありますように、患者様の高齢化、要介 護者の増加、脳卒中再発例の増加など、臨床像が変化していることを実感しております。当院に

おけるセラピストの役割・機能もそれに伴い少しずつ変化し、 より良く適応していると感じられます。

リハビリ室は若いスタッフが多く、臨床教育的側面は課題と なっている事が多くありますが、急性期リハビリテーションの 在り方をより一層深化させ、当院の理念でもある"地域に信頼・ 支持される"リハビリテーションを、他職種と連携しながら提供 していきたいと思います。

(理学療法十 主任:櫻井 健太郎)



リハビリテーション室

減塩について ~基本に戻ろう!~

年末年始は外出の機会が増え、外食やお弁当、お惣菜などを利用した方も多かったのではないで しょうか。しかし、外食やお弁当には「塩分」が多く含まれているため、塩分のとり過ぎとなって しまうことがあります。本当は食べたいけど不安、心配…という方へ、ポイントをご紹介します。

宮城県民の塩分摂取量は・・・

男性:1日11.9g(全国1位!!)

女性:1日 9.4g (全国9位!)

※2016年 国民健康・栄養調査報告より

高血圧症の目標 塩分の摂取量の目標 6 g未満

男性 8 g未満

女性 7 g未満

厚生労働省

日本人の食事摂取基準(2015年版

あなたはどのくらい食べていますか?~塩分量の目安~



●外食の減塩ポイント

- 1. 単品より、定食を選びましょう
- 2. 塩分の多い漬物や佃煮を控え、みそ汁や麺類の汁は残しましょう
- 3. ソースやしょうゆなど、後からかける調味料は、極力少量を心がけましょう

●中食の減塩ポイント ※中食とは、コンビニやスーパー等の総菜を家庭や職場で食べること

- 4. 栄養成分表示を確認するようにしましょう
- 5. たんぱく質や炭水化物中心にならないよう、サラダ類もプラスしましょう

当院では、管理栄養士による食事相談を行っております。

食事療法は、病気を治療する上で大切な治療法の一つです。医師 の指示に基づいて、管理栄養士が患者様の症状に合わせ、食事を どうしたら良いのか、分かりやすくご説明します。ご希望の患者 様は、予約制となっておりますので、主治医または看護師にご相 談ください。 (管理栄養士:山上 有梨)

